

# 第一種熱交換型 24時間換気システム

KAK 協立エアテック株式会社

24時間換気システム

# kankimaru



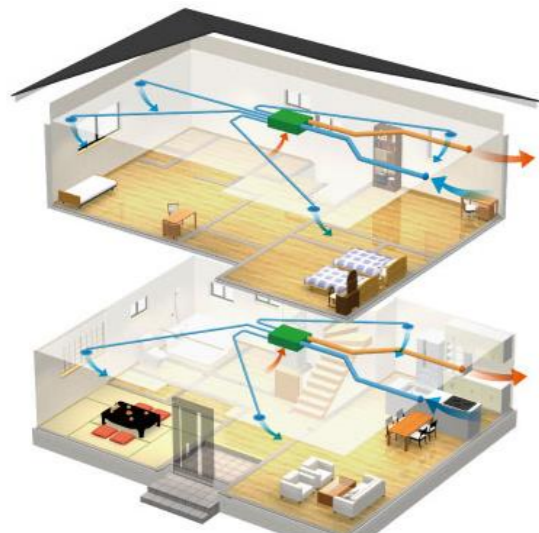
## ぴったり省エネフロア型

第1種

AF-1F

全熱交換器 階別集中排気型

●各フロアごとに本体を設置し、各部屋で給気する全熱交換タイプの換気システムです●

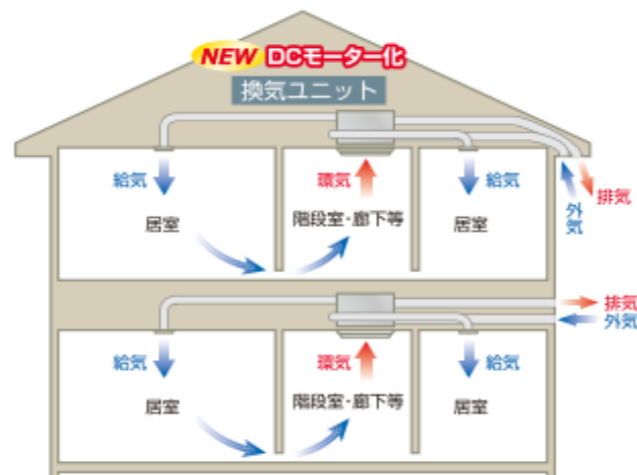


高性能フィルター内蔵



高捕集フィルター  
2.0μm以上 99%以上捕集

※フィルター性能試験に基づく性能であり、実機の性能とは異なります。このフィルターでは0.3μm未満の微小物質については除去できる確認が取得していません。また、空気中の有害物質全てを除去できるものではありません。



空気を入れ換えるだけの換気とはちがう kankimaruの4つのメリット

汚れの排気

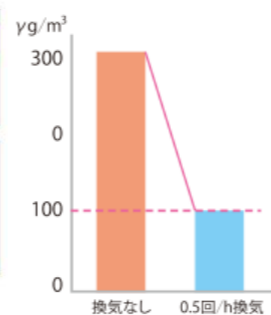
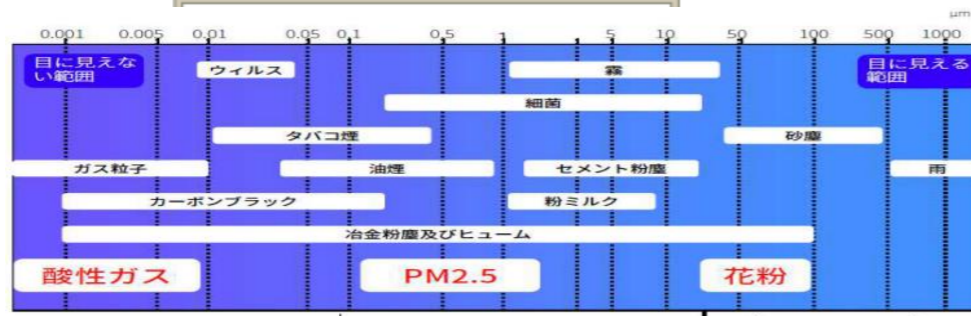
シックハウス症候群を防ぎます。

新築やリフォームした住宅に入居したときに、「目がチカチカする」「のどが痛い」「めまいや吐き気がする」「頭痛がする」などの症状があらわれることがあります。こうしたシックハウス症候群の原因の一部として、建材や家具、日用品から発散するホルムアルデヒドやVOC(トルエン、キシレン等)の化学物質が挙げられています。24時間換気システムの「kankimaru」には、これらの化学物質の濃度を低減する効果があります。

湿度の調整

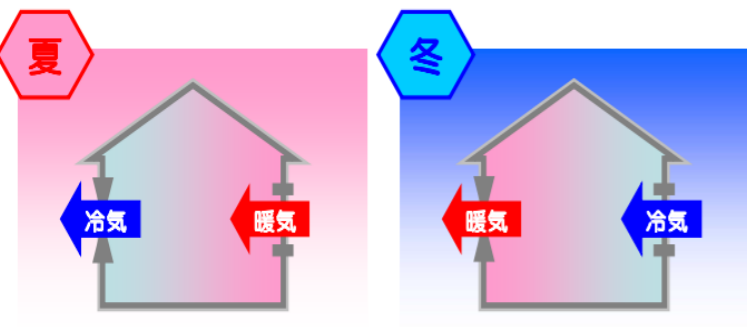
高湿度や乾燥を適度に抑えます。

24時間換気システム「kankimaru」の「全熱交換器」タイプなら、温度の緩和と併せて湿度も適度な状態に保つことができます。夏期は外気の湿分を排気側に移して除湿し、冬期は室内排気の湿分を給気側に移して加湿します。この適度な相対湿度によって、結露やカビ・ダニの発生を抑制します。



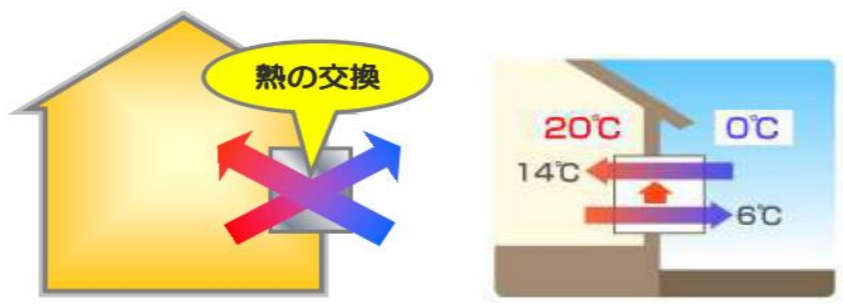
## 全熱交換器のメリット

■「非」熱交換型の場合



換気をする度に、室内の冷やした(暖めた)空気を外に排出し、代わりに外の空気がそのままの温度で室内に入ってきます。

■ 全熱交換型の場合



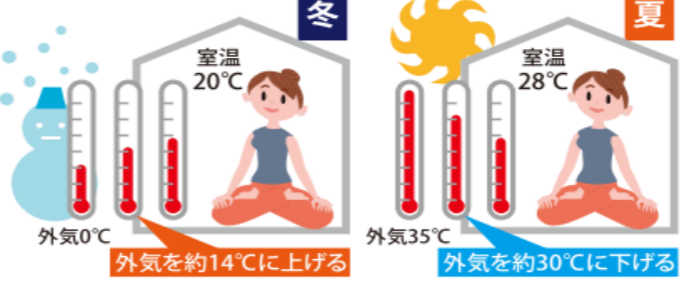
『外から取り入れる空気』と『室内から排出する空気』の間で熱の交換を行います。そうすることで温度差を小さくし、冷暖房エネルギーの消費量を抑えたり、不快感を軽減させることができます。

温度の交換効率は70%  
例えば、室内20℃、外部0℃の場合、熱交換器を通すことにより約14℃になり室内へ供給されます。

温度の調整

室内の温度を快適域に保ちます。

夏は暑くて(約35℃)冬は寒い(約0℃)外気を、そのまま室内に取り入れるのは心地よくありません。また、冷暖房装置の使用時には効果を下げることになります。24時間換気システム「kankimaru」の「熱交換器」は排気に含まれる熱エネルギーを給気側に移す熱回収効果があり、外気の温度を緩和して室内に取り入れるので、心地よさを保ちながら大幅な省エネ効果が得られます。



きれいな給気

外気をクリーンに取り入れます。

たとえ窓を開けて風通しを良くしても、現代では外気そのものが汚れていることが少なくありません。24時間換気システムの「kankimaru」は、高性能フィルターを備えているので、花粉や粉塵・大気汚染等の汚れを除去してクリーンな空気を室内に取り入れます。外気をクリーンにして取り入れることで、室内の二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)濃度を基準値の1000ppm以内に保ちます。

